中学生のみなさんへのメッセージ！

米子東高・生命科学コース・平成30年3月卒業・現役合格生徒より

大阪大学　理学部　物理学科　宮原健輔さん（加茂中出身）

私は生命科学コース(以下、生命)に入り、心の底から「このクラスの一員で良かったな」と感じています。そのように思った理由の一つは、三年間クラス替えがない事です。それは私が中学生の頃に、生命を受験する事を躊躇った理由でもありました。皆さんの中にも「三年間クラス替えがない＝馴染めないと終わり、友達が少ない」というイメージで生命を敬遠している人が居るのでは無いでしょうか。私も友達作りが苦手で、不安を抱えながら入学式を迎えたのを覚えています。しかし、三年間一緒にいることは、中々人と馴染むのが苦手な人でも、仲良くなるチャンスが他クラスより3倍もあるということです。実際、私のクラスは他のどのクラスよりも一致団結し、文化祭や体育祭にも一丸となって取り組めていたと思います。勉強に関しても、互いに分からないところをいつでも教え合い、高め合える関係を築くことが出来ました。かの有名なフランス作家であるサン＝テグジュペリの言葉である「愛とはお互いを見つめ合うことではなく、共に同じ方向を見つめることである」のように、全てのことに対して、クラス全員が互いを思いやりつつも、同じ方向を目指すことができるのが生命科学コース最大の特徴なのです。

色濃い三年間を友と共に送りたい人、友達作りが苦手だけど楽しい高校生活をしたい人、どんな人にとっても、これからも繋がり合える仲間という生涯の宝を見つけるのに、生命科学コースは最適の空間です。ぜひ皆さんも生命科学コースに進学し、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

京都大学　文学部　人文学科　平尾　柚乃さん（弓ヶ浜中出身）

生命科学コースというと医学部や薬学部などに進学するというイメージがあるかもしれませんが、文学部に進学した私にとっても、このコースでの勉強は非常に役立つものでした。岡山大学や鳥取大学での研修を通してクラスメイトたちと意識を高めあったり、数学や理科の少人数授業で理解を深めたりすることができます。

また、クラス替えがないのでクラスの団結は強く、３年間を通してお互いの個性をわかりあえるというのも生命科学コースの特長です。

このコースにいるからこそできる経験は紹介しきれないほどあります。ぜひ、生命科学コースで充実した高校生活を送ってください。

岐阜大学　応用生物科学部　共同獣医学科　松田優花さん（尚徳中出身）

みなさんは理系科目は好きですか。実は私は高校入学前、理系科目が正直苦手でした。しかし生命科学コースに入学すると、理系科目が少人数指導だったり理系科目が非常に得意な友人が数多くいたりと素晴らしい環境が整っており、得意科目として数えられる理系科目もできました。

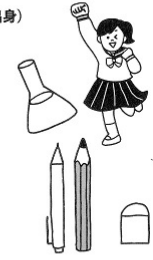
また、理系科目に特化していること以外にも、生命科学コースにはもう一つの特長があります。それは３年間クラス替えがないことです。３年間同じメンバーで過ごすため年度始まりに気を遣う必要もないし、ずっと一緒にいたクラスメイトとの絆はどこのクラスにも負けないものとなります。

たった３年間の高校生活です。生命科学コースで素晴らしい仲間と切磋琢磨し合い、目標を実現してみませんか。

中学生のみなさんへのメッセージ！

米子東高・生命科学コース・平成31年3月卒業・現役合格生徒より

岡山大学　工学部　化学生命系学科　天滿　詩絵奈さん（福生中出身）



私はこの生命科学コースに入って本当に良かったと思います。

私の思う生命科学コースの特長は3つあります。

まず、一部の授業が少人数クラスで行われるということです。このクラス分けは習熟度別であるため、自分に合ったレベルの勉強をすることができます。また、少人数なので、先生との距離が近く、発言や質問のしやすい良い雰囲気で授業を受けられます。

次に、課外活動が多いことです。入学してすぐに行われる大山合宿は、クラスに慣れ、クラスメイトと仲を深める良いきっかけとなりました。また、１・２年生の岡山大や鳥取大での研修では、講演や実験を通して高度な科学に触れることができます。

最後に、３年間クラス替えがないことです。ずっと同じメンバーで過ごすので、お互いのことをよく知ることができ、とても仲が深まります。とても居心地のいいクラスでした。

是非生命科学コースへの入学を考えてみてください。

鳥取大学　医学部　医学科　嶋田　龍之介さん（東山中出身）

生命科学コースの特徴といわれて、まず思いつくことは「３年間クラスメイトが一緒」ということです。私自身も最初はその制度に不安を感じていました。しかし入ってみると最初の想像とは大きく違っていました。生命科学コースは最初に２泊３日の大山研修があります。文字通り丸三日一緒にいますので、否が応でもお互いを知り仲良くなります。２・３年生の学校祭では明らかに他のクラスとは違う団結力を発揮します。卒業式では皆が涙を禁じ得ませんでした。それくらい生命科学コースの絆は固いものになります。

また、３年間一緒ですので、お互いの得意や不得意を熟知するようになります。そしてお互いに教え合うことで、相乗効果によりクラスで学力を高め合うこともできます。

以上のように、生命科学コースでは「人間関係」と「勉学」のどちらも充実させることができます。この２つのどちらも高校生活の大部分を占める分野です。高校生活を充実させることができるという点でも、生命科学コースに入ろうという気になりませんか？

皆さんが生命科学コースに入り充実した青春を送ることができることを願っています。

広島大学　教育学部　第一類（学校教育系）
特別支援教育教員養成コース　山根　美季さん（福米中出身）

教育学部に進学した私ですが、「高校３年間を生命科学コースで過ごしてよかったか？」と聞かれたら「はい」と即答できます。

生命科学コースは理系に特化したコースで、理系に進学することを考えている人にとってプラスになる経験ができるのはもちろんですが、それだけではない魅力がたくさんあるのです。例えば、生命科学コースに入れば、勉強がしたくなります。というよりも、勉強が楽しくなります。私たち115期には、一つの分野を極めている人、何でも知っている博識な人、教えるのがうまい人、とても努力している人が多くいました。そのような人たちとともに勉強することで刺激を受け、発言が飛び交う授業を通してだんだんと学ぶことが楽しくなりました。きっと、あなたにもあなたの学びを助けてくれるクラスメイトができ、そして、あなたも誰かの学びを助けることになるでしょう。三年間楽しく学び続けられるというのは、生命科学コースの魅力の一つです。

さらに、クラス替えのない生命科学コースは、三年間でお互いの個性を分かり合い、尊重し、どこのクラスにも負けない絆を築くことができます。

もっともっと生命科学コースには魅力があるのですが、今回はこの辺で…。残りの魅力は、生命科学コースに進学してからのお楽しみということにしましょう！